クラブ会報
CLUB BULLETIN
(WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ
TSURUOKA ROTARY CLUB
D-253
創立 S 34. 6. 9
承認 S 34. 6. 27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235(24)7711

会長 嶺岸光吉
幹事 佐藤衛
会報委員長 川村徳男
小池繁治
西海正一
佐藤昇

No., 1079 1980. 10. 18 (火)(雨) No., 17

ビジター紹介

金子勝見君 私学教育 — 余目R.C
菅原鉄三郎君 雑貨小売 藤谷隆君 海網販売 — 温海R.C
佐藤成生君 金物販売 内田智誉雄君 相互銀行 — 鶴岡西R.C

◆ ゲスト紹介 阿部久書店社長 阿部整一氏

会長報告

嶺岸光吉君

昨年11月7日鹿児島市において兄弟都市盟約10周年記念式典を挙行され、両市のきずなが一層深められました。本年は、来る11月7日の盟約記念日に鹿児島市親善使節団市長以下25名の方が鶴岡市を表敬されます。

昨年の盟約には大変温かい心配りと歓迎ぶりに唯々心を打たれたという事を

聞いております。7日、8日の2日間兄弟都市との一層の交流をはかる為、各団体に呼びかけがありました。

市長以下幹部職員、地元県会議員、市議会議員、教育委員会、商工会議所、鶴岡Ｒ.Ｃ、朝暘Ｌ.Ｃ、庄内鹿児島会、姉妹校これらの団体に10周年鶴岡記念行事への参加の要請が来ております。

11月7日11時36分急行きたぐにで到着、いこいの村庄内で昼食、その後市役所を訪問、旧藩校致道館、致道博物館等を見学。5時よりグランドエルサンに於いて鹿児島市との記念式典が開催されます。この式典には、クラブより3名の方から出席してもらいたい。会長、幹事、前会長という指名てございます。尚、この使節団の中に、ロータリアンがこられた場合、式典終了後その方を囲んで懇親会をもっていただきたいというお願いでございます。

翌8日は、松ヶ岡、最上川芭蕉ライン舟下り、山居倉庫、南洲神社を参拝、亀屋ホテルで市主催の歓迎夕食会があるようです。

9日朝いなほ2号で出発致します。この一行の駅までの送迎にはクラブより出来るだけ多くの方を出していただきたい。

◎阿部与十郎君の建設中のホテル新館が、10月31日に竣工の運びとなりました。クラブ会長名でご招待をいただいております。阿部さん誠にお目出度うございます。

幹事報告

佐藤　衛君

① 会報到着ー鶴岡西、上ノ山、藤沢、山形、山形西、山形北、山形南、台中港区各Ｒ.Ｃ

② 年次大会のご案内

お隣り252地区、仙台東Ｒ.Ｃホスト

1981年4月18、19日の両日です。詳細は事務局迄お願いします。

委員会報告

青少年委員会　佐藤順治君

◎金峰少年自然の家宿泊訓練について

11月8、9日実施予定の金峰少年自然の家に於ける小学生の宿泊訓練についてご報告を申し上げます。

結論から申し上げますと参加人員が少ないので中止致すことになりました。その内容を申し上げますと、去る9月4日旧市内各小学校長宛各校10名（4年生以上）参加させて頂くよう要請書を出しました。

最終的に各校の参加人員は、一小10名、二小10名、三小15名、四小2名、計37名でした。五、六小は学校行事の為不参加とのことでした。

はじめ60名の予定が37名になりましたけれども、折角計画したのだから実施することとし、鋭意準備を進めておりました処、10月24日三小より学校行事（11月9日父親参観日）のため不参加の旨事務局に連絡がありました。すると参加者は22名となるわけです。

早速、菅原青少年奉仕委員長と相談した結果、中止することに決定し、各関係者に連絡致しました。この行事は青少年委員会としては最も大きな行事でありますだけに誠に残念であります。

◎親睦活動委員会　　　　　　　　　　　　　　　　　　佐藤　忠君

次の親睦会は12月20日クリスマスに行ないたいと思います。

◆ 新入会員　池田　弘君紹介　　　　（推薦者）丹下誠四郎君

鶴岡市において有名なアサヒハイヤーの社長さんであります池田弘君をご紹介申し上げます。

人望が篤く、人格は温厚にして現在田川地区バレーボール協会の会長、県バレーボール副会長又ハイヤー協同組合の理事の重責にある方です。

◆ 新入会員　池田　弘君ご挨拶

ただ今、丹下さんよりご紹介をいただきました池田でございます。長い間アサヒハイヤーK.Kを経営致しております。何もわかりませんが宜しくご指導の程をお願い致します。

◆ ゲストスピーチ　　鶴岡よもやま話　　　　阿部整一氏

水が増せば川となり、水が引けば陸となる、そんな風景が内川のいたる所にあった。風が出れば小波を立て風が治まれば底を見せる内川、その頃川端には蛇が沢山住んでいて、瓦斯会社の裏など草茫々の中、柳の小木にからんだ沢山の蛇が見られた。

私の遠い少年の頃、泉町の川端に成田と云う大きな材木屋があり、川舟を持っていた。僕等はそこの事務室に行き、10銭を払って舟を借りる事にしていた。当時舟賃は一時間十銭で僕等は舟をこぎ出しボッキ（河骨）を摘んで遊んだ。ボッキは黄色な花で川面にゆらりゆらりとゆれていた、懐しの内川。夕暮になるとハヤが浮きハヤ浮かしも楽しい遊びの一つであった。川底に息をしていた多くの貝類は既に姿を消したであろうか。

人生と川、どの様な連なりを持っていただろうか。星川清躬、田沢稲舟、三井光弥等の文学者は皆、内川のへりに住んでいて内川に育てられた詩人達と云って良いのではなかろうか。高山樗牛は苗津川に育てられた文学者の様な気がする。哲学者の宮本和吉さんは朝日村の出身、そこには青龍寺川が大きく流れている。

庄内の哲学者で美学を学んだ人が多い。宮本和吉さんを別にしても、阿部次郎、高山林次郎さん等全国的に見て一流の文学者であった。阿部次郎さんと云えば、夏目漱石の門下生と云われ、山大の阿部襄さんの叔父さんに当る人である。

私はこの人に教えられる事が多い。地獄の征服だか、人格主義と云う本のど

ちらかが判然としないが、僕のような小心者に教える所が多かった。「小心者と云う者は、いつも不安な気持を持っていて、いつ地震が起るか、いつ火事が起るか等と心配しているが、万一そんな事が起きても平常万一の事を考えているから、そんなに驚かないものだ。それに反して元気のあるように見られる人達は日頃そんな事を考えていないので、火事や地震等が起きると小心者以上に慌てるものだ」そんな事を書いているが、僕等小心者に元気を与えてくれる文章であった。

僕は今昔の風景を思い出して私の鶴岡地図と云う雑文を書いているが、昔の面影は次第に薄れて行く。最近迄新士町、最上町あたりに昔の面影を残していたが今はもう見る影もない。トタン屋根にコンクリートの建物がならぶようでは仕方がない。色々歩いて見て一番城下町の面影の残っているのは大工町でなかろうか。柿の実が道路にはみ出し母家は遠く後にあって、前庭にコスモスの咲いている風景。良いなーと思うのは老年のためだろうか。

私も既に老境に入り、金もいらず名もいらず等と大きな事を云いたくない。何か遠い夢には「竹林に書屋を建て猥書を読む」そんな風流に心が引かれるのである。

金に富み心も富むと云うが、両方が出来ない場合は後者を取りたい。この頃だんだん寒くなって、冬来りなば春遠からじのように早く春に近づき鶴岡の街々に咲く美しい紅梅を観めたいものである。

SMILE BOX

上野三郎君—若葉町に新たに住宅を建て転居いたしました。

◆ 次回プログラム予定

11月4日　会員スピーチ　藤川君

出席報告

本日の出席	会員数	69名	欠席者	秋野君、風間君、金沢君、川村君、黒谷君、三井(徹)君、斎藤(栄)君、笹原君、佐藤(昇)君、佐藤(元)君、高橋(耕)君、玉城君、手塚君、富樫君
	出席数	55名		
	出席率	79.71%		

前回の出席	前回出席率	70.59%	メアーキャップ	藤川君、飯白君、板垣(広)君、風間君、三井(賢)君、諸橋君、中野君、小野寺君、斎藤(栄)君、高橋(耕)君、玉城君、内山君、吉野君—鶴岡西R，C
	修正出席数	61名		
	確定出席率	89.71%		